

レベル1 れいを見て、うすい字を なぞろう

れい（見本）

↓ もんだいと同じ書き方の 見本です。よく見てね。

1こ280円のケーキを3こ買います。1000円で足りるでしょうか。がい数で見積もって考えましょう。

① 見積もりの式に書く

280 →（多めに）300、 $300 \times 3 = 900$

② 言葉で説明する（文しょうで）

まず、多めに見るために、280円を切り上げて300円とみます。つぎに、 $300 \times 3 = 900$ と見積もります。だから、代金は約900円で、1000円で足ります。

③ たしかめる（じっさいに計算）

じっさい： $280 \times 3 = 840$ 。多めの900円でも1000円より少ないので、たしかに足りる。

答え（だいたい900円。1000円で足りる。）

もんだい

1本190円のジュースを4本買います。1000円で足りるでしょうか。がい数で見積もって考えましょう。

多めに見積もって、足りるかどうかを式と言葉で説明しましょう。

① 見積もりの式に書く

190 →（多めに）200、 $200 \times 4 = 800$

② 言葉で説明する（文しょうで）

まず、多めに見るために、190円を切り上げて200円とみます。つぎに、 $200 \times 4 = 800$ と見積もります。だから、代金は約800円で、1000円で足ります。

③ たしかめる（じっさいに計算）

じっさい： $190 \times 4 = 760$ 。多めの800円でも1000円より少ないので、たしかに足りる。

答え（だいたい800円。1000円で足りる。）

レベル2 れいを見て、ヒントを使って説明しよう

れい（見本）

↓ もんだいと同じ書き方の見本です。よく見てね。

1こ280円のケーキを3こ買います。1000円で足りるでしょうか。がい数で見積もって考えましょう。

① 見積もりの式に書く

280 →（多めに）300、 $300 \times 3 = 900$

② 言葉で説明する（文しょうで）

まず、多めに見るために、280円を切り上げて300円とみます。つぎに、 $300 \times 3 = 900$ と見積もります。だから、代金は約900円で、1000円で足ります。

③ たしかめる（じっさいに計算）

じっさい： $280 \times 3 = 840$ 。多めの900円でも1000円より少ないので、たしかに足りる。

答え（だいたい900円。1000円で足りる。）

もんだい

1本190円のジュースを4本買います。1000円で足りるでしょうか。がい数で見積もって考えましょう。

多めに見積もって、足りるかどうかを式と言葉で説明しましょう。

① 見積もりの式に書く

190 →（多めに）200、 $200 \times 4 =$

② 言葉で説明する（文しょうで）

「まず、」「つぎに、」「だから、」をつかって、文しょうで書こう。

③ たしかめる（じっさいに計算）

じっさいの代金を計算して、見積もりとくらべる。

答え（ ）

レベル3 れいを見て、式と言葉で説明しよう

れい（見本）

↓ もんだいと同じ書き方の見本です。よく見てね。

1こ280円のケーキを3こ買います。1000円で足りるでしょうか。がい数で見積もって考えましょう。

① 見積もりの式に書く

280 →（多めに）300、 $300 \times 3 = 900$

② 言葉で説明する（文しょうで）

まず、多めに見るために、280円を切り上げて300円とみます。つぎに、 $300 \times 3 = 900$ と見積もります。だから、代金は約900円で、1000円で足ります。

③ たしかめる（じっさいに計算）

じっさい： $280 \times 3 = 840$ 。多めの900円でも1000円より少ないので、たしかに足りる。

答え（だいたい900円。1000円で足りる。）

もんだい

1本190円のジュースを4本買います。1000円で足りるでしょうか。がい数で見積もって考えましょう。

多めに見積もって、足りるかどうかを式と言葉で説明しましょう。

① 見積もりの式に書く

② 言葉で説明する（文しょうで）

「まず、」「つぎに、」「だから、」をつかって、文しょうで書こう。

③ たしかめる（じっさいに計算）

じっさいの代金を計算して、見積もりとくらべる。

答え（ ）

レベル4 れいを見て、自分の力で説明しよう

れい（見本）

↓ もんだいと同じ書き方の見本です。よく見てね。

1こ280円のケーキを3こ買います。1000円で足りるでしょうか。がい数で見積もって考えましょう。

① 見積もりの式に書く

280 →（多めに）300、 $300 \times 3 = 900$

② 言葉で説明する（文しょうで）

まず、多めに見るために、280円を切り上げて300円とみます。つぎに、 $300 \times 3 = 900$ と見積もります。だから、代金は約900円で、1000円で足ります。

③ たしかめる（じっさいに計算）

じっさい： $280 \times 3 = 840$ 。多めの900円でも1000円より少ないので、たしかに足りる。

答え（だいたい900円。1000円で足りる。）

もんだい

1本190円のジュースを4本買います。1000円で足りるでしょうか。がい数で見積もって考えましょう。

多めに見積もって、足りるかどうかを式と言葉で説明しましょう。

① 見積もりの式に書く

② 言葉で説明する（文しょうで）

③ たしかめる（じっさいに計算）

じっさいの代金を計算して、見積もりとくらべる。

答え（ ）

解答 解答・指導のポイント

もんだいの答え

1本190円のジュースを4本買います。1000円で足りるでしょうか。がい数で見積もって考えましょう。

① 見積もりの式に書く

$$190 \rightarrow (\text{多めに}) 200, \quad 200 \times 4 = 800$$

② 言葉で説明する（文しょうで）

まず、多めに見るために、190円を切り上げて200円とみます。つぎに、 $200 \times 4 = 800$ と見積もります。だから、代金は約800円で、1000円で足ります。

③ たしかめる（じっさいに計算）

じっさい： $190 \times 4 = 760$ 。多めの800円でも1000円より少ないので、たしかに足りる。

答え（だいたい800円。1000円で足りる。）

指導のポイント

ねらい：買い物の場面で、がい数を使って代金を見積もり、「足りるか」の見当のつけ方を式と言葉で説明する

評価規準：思考・判断・表現：目的に合わせて数をごい数で見積もり、そのしかたとわけを、式や言葉を用いて説明することができる。

学習指導要領：小学校学習指導要領（算数）第4学年 A 数と計算 (7) 概数と四捨五入 — 目的に応じて概数を用い、和・差・積・商を見積もること。

レベルの使い方：到達目標は全レベル共通。子どもが自分に合うレベルを選ぶ。どのレベルも左の「れい」と同じ書き方で右の「もんだい」ととく。レベル1＝なぞる／2＝ヒント多め／3＝ヒント少なめ／4＝自分の力で。